資　　料

曽我部右吉 四阪島煙害関連資料目録

吉村　久美子 *

Catalogue of the Historical Record About the Process that SOGABE Ukichi Had Led to the Solution to the Damage Caused by Sulfur Dioxide Discharged from Shisakajima Island

YOSHIMURA Kumiko

Abstract：The copper smelting factory in Shisakajima island started to operate in 1905, and the air pollution caused by sulfur dioxide discharged from Shisakajima island spread to the opposite shore in Ehime. SOGABE Ukichi (1864-1956) who was the village mayor of Sakurai, had negotiated with Sumitomo Besshi Mining Company about the damage as a representative of the damaged area many times. The negotiating record of those days was donated to Ehime Prefectural Science Museum by SOGABE family in 2008. The 224 documents were classified in 10 categories and were listed in this catalogue.

キーワード：曽我部右吉，四阪島，煙害，住友，別子銅山
Key words：SOGABE Ukichi, Shisakajima island, Damage caused by sulfur dioxide, Sumitomo, Besshi copper mine

は　じ　め　に

2008 年（平成 20 年），今治市郷桜井の曽我部正己・庸子ご夫妻から，四阪島煙害関連資料一式が寄贈された．それらの資料は，祖父 曽我部右吉が遺し家宝として受け継がれてきたものであった．

明治時代，別子銅山近代化により新居浜では煙害が起こっていた．それを解決するため別子鉱業所（現 住友金属鉱山株式会社）は，製錬所の移転を決断する．新居浜から瀬戸内海に浮かぶ四阪島（図 1）への製錬所移転には，別子鉱業所年間純利益の 2 倍という莫大な費用がかかった．“これで煙害が無くなる”誰もがそう信じていたが，過酷な現実が待ち受けていた．1905 年（明治 38 年），四阪島製錬所（写真 1）が操業を開始すると，煙突から排出された亜硫酸ガスは海上で拡散されることなく，風にのって四国本土へと流れ込み，被害地が愛媛県東予地方一帯へと拡大する結果となってしまった．当時，越智郡桜井村の村長であった曽我部右吉は，農民代表として立ち上がり，別子鉱業所に対し煙害を訴え粘り強く交渉を続けた．そして 1910 年（明治 43 年），農商務大臣官邸において妥協交渉会開催をとりつけ，ついに交渉成立・契約妥結となった．この契約により，別子鉱業所は製錬鉱量の制限を受けることとなる．これは日本の産業史においても大きな出来事であった．

寄贈された四阪島煙害関連資料は，その当時の貴重な交渉記録である．その 224 点の資料を 10 に分類し一覧にしたので，ここに報告する．

図 1　四阪島（現 愛媛県今治市宮窪町四阪島）

＊ 愛媛県総合科学博物館　学芸課　産業研究科
Curatorial Division, Ehime Prefectural Science Museum

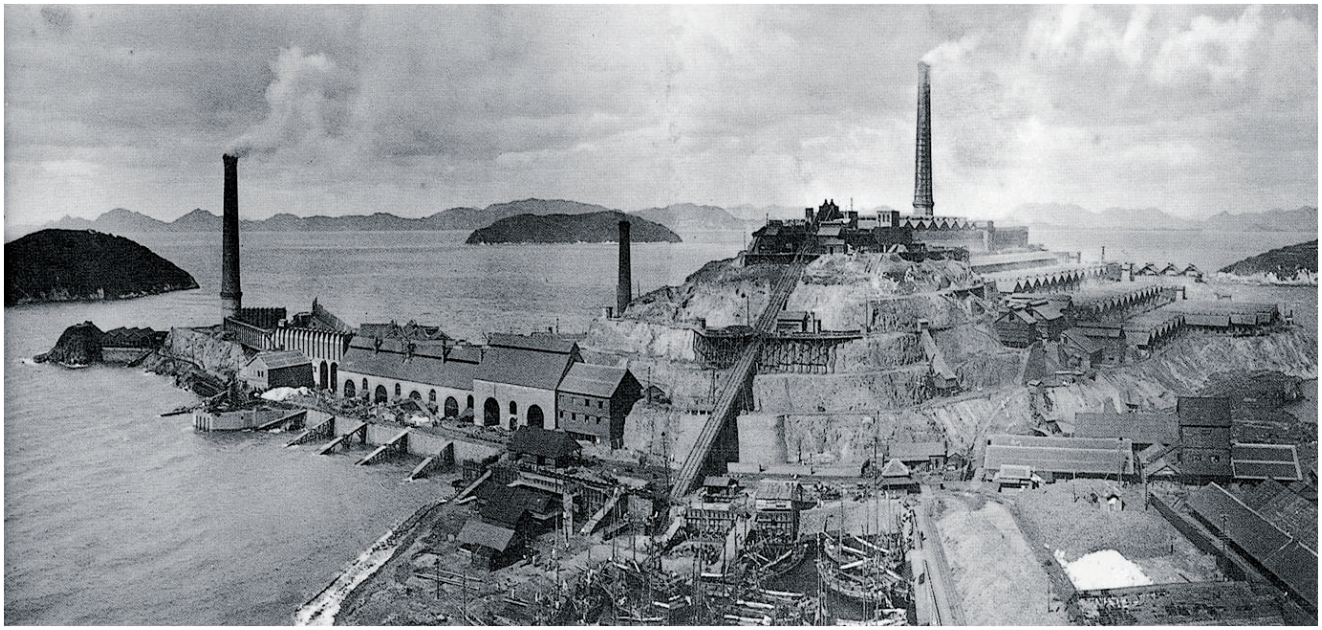

写真 1　明治 39 年頃の四阪島製錬所　住友史料館提供

曽我部右吉の略歴

1864 年（元治元年），越智郡九和村与和木（現在の今治市玉川町）武田弥平太の三男として生まれる．17 歳で桜井村の叔父曽我部甚太郎の養嗣子となり，22 歳で曽我部家の長女テイと結婚する．1894 年（明治 27 年）には 31 歳の若さで桜井村の村長となり，その後 79 歳で桜井町長を辞任するまでの間に，合計約 27 年間にわたり村町長職を務めた．その間に尽力した二大偉業が共有山の植林と四阪島煙害問題の解決である（表 1）．

共有山植林のきっかけは，自然災害であった．明治期，越智郡（現在の今治市）の蒼社川・頓田川流域は，大雨が降れば洪水，日照りが続くと渇水という状態が続いていた．当時，上流域の山は荒れ放題で木が少なく，水を蓄える力が無かったが，これらの山は官有山であったため植林することができなかった．右吉は，民有山として官有山の払い下げを受けるため，関係各所へ働きかけた．そして 1891 年（明治 24 年），13 ケ町村組合山として無償で払い下げを受けることとなる．県議となってからは治山治水を力説し，県に山林技師を置くよう提案，林務課も設置した．1902 年（明治 35 年），組合長に就任後は，先進地である吉野を参考に造林を進めた．その後，右吉が立ち上げた共有山組合は脈々と受け継がれ，現在，今治では豊かな山をみることができる．

四阪島煙害問題については，製錬所操業開始の翌年 1906 年（明治 39 年）に，四阪島製錬所煙害調査会を起こした．ちょうど共有山組合を設立し，郷土の山を蘇らせようとしていたその矢先の煙害（図 2）であったため，右吉が農民代表として煙害調査会を立ち上げたのは，当然の事であった．煙害を明らかにするため関係各所へ調査を依頼，その調査の結果，被害の原因が製錬所からの亜硫酸ガスであることが判明．その事実を住友へ明示し，面会及び被害地視察を求めた．1909 年（明治 42 年）からは国会請願のため上京すること数回．また尾道において住友側と妥協交渉会を開催したが，話し合いは決裂した．1910 年（明治 43 年）も引き続き国会請願のため数回上京し，ついに 11 月農商務大臣官邸において住友側代表との妥協交渉会開催を取りつけた．越智郡･周桑郡･新居郡・宇摩郡の四郡農民代表の主席として交渉を成立させ，煙害問題を解決した（写真 2・図 3）．右吉 47 歳であった．

晩年は，特に植林事業に関して数多く表彰された．1956 年（昭和 31 年）8 月 3 日，「緑化の父」と敬われた右吉は 93 歳でその生涯を終えた．今治市内 3 カ所に残る胸像（写真 3），頌徳碑（写真 4・5）からも，その功績を知ることができる．

表１　曽我部右吉略歴

西暦	元号	年	数え歳	略　　歴	桜井町村	四阪煙害	共有山
1864	元治	1	1 歳	2 月 20 日越智郡九和村与和木庄屋武田弥平太三男として出生			
1865	慶応	1	2 歳				
1866	慶応	2	3 歳				
1867	慶応	3	4 歳				
1868	明治	1	5 歳				
1869	明治	2	6 歳				
1870	明治	3	7 歳				
1871	明治	4	8 歳				
1872	明治	5	9 歳				
1873	明治	6	10 歳				
1874	明治	7	11 歳				
1875	明治	8	12 歳				
1876	明治	9	13 歳				
1877	明治	10	14 歳				
1878	明治	11	15 歳	旧今治藩士族部設立啓己学校及び教育者養成所卒業後渡辺堤河上等の諸先生に漢書及び数学を学ぶ			
1879	明治	12	16 歳				
1880	明治	13	17 歳	叔父桜井村曽我部甚太郎養嗣子			
1881	明治	14	18 歳				
1882	明治	15	19 歳				
1883	明治	16	20 歳				
1884	明治	17	21 歳				
1885	明治	18	22 歳	曽我部家長女テイと結婚．7 月 10 日徴兵として東京近衛歩兵第三聯隊入営．			
1886	明治	19	23 歳				
1887	明治	20	24 歳				
1888	明治	21	25 歳	4 月 20 日徴兵満期帰郷			
1889	明治	22	26 歳				
1890	明治	23	27 歳				
1891	明治	24	28 歳	桜井村高麗池改修，市町村自治制施行に伴う村会議員以後約 20 年余当選．越智郡日高村外十三ヶ町村共有山組合会議員．			
1892	明治	25	29 歳				
1893	明治	26	30 歳				
1894	明治	27	31 歳	桜井村長途中一時辞職するも引き続き在職約十五年	村長		
1895	明治	28	32 歳	次男親男生まれる	村長		
1896	明治	29	33 歳	日清戦役功労者として記念品下賜	村長		
1897	明治	30	34 歳	越智郡会議員同参事会員	村長		
1898	明治	31	35 歳	越智郡共有山管理者．愛媛県会議員及土木調査会員	村長		
1899	明治	32	36 歳		村長		
1900	明治	33	37 歳		村長		
1901	明治	34	38 歳		村長		
1902	明治	35	39 歳	越智郡日高村外十三ヶ町村共有山組合長引続 14 年在職	村長		組合長
1903	明治	36	40 歳		村長		組合長
1904	明治	37	41 歳		村長		組合長
1905	明治	38	42 歳		村長		組合長
1906	明治	39	43 歳	県郡村各農会議員，四阪島住友製錬所煙害調査会を起こす．郡所得調査委員引続き約 8 年．日露戦役勲功者として勲七等．	村長		組合長
1907	明治	40	44 歳	四阪島煙害越智郡同盟会代表．県立今治中学独立に関与目的達成．	村長	郡同盟会代表	組合長
1908	明治	41	45 歳	下朝倉村外ニヶ村山林組合長．上朝倉村外三ヶ村山林組合長．	村長	郡同盟会代表	組合長
1909	明治	42	46 歳	四阪島煙害に関し上司及国会に請願の為数回上京．煙害に関し尾ノ道市において住友側と妥協交渉会を開くも妥協成立せず．地方自治功労者として県知事より表彰状．	村長	郡同盟会代表	組合長
1910	明治	43	47 歳	四阪島煙害に関し上司及国会に請願の為数回上京．11 月住友側代表と農商務大臣官邸において妥協交渉会開催．四郡農民首席代表となり交渉を成立させ煙害問題を解決させた．	村長	郡同盟会代表	組合長
1911	明治	44	48 歳	郡会議員同参事会員		契約会郡代表	組合長
1912	大正	1	49 歳	四阪島煙害問題解決に関し被害東予四郡農民代表・越智郡農民代表・桜井町よりそれぞれ感謝状		契約会郡代表	組合長
1913	大正	2	50 歳	第二回煙害賠償契約会郡代表		契約会郡代表	組合長

1914	大正	3	51 歳	帝国農会議員．郡会議員同議長．県郡農会議員．		契約会 郡代表	組合長
1915	大正	4	52 歳	四阪島煙害問題解決に関し越智郡農民代表より感謝状		契約会 郡代表	組合長
1916	大正	5	53 歳	国会議員選挙違反に連座全公職を辞任．植林事業に関し共有山組合より感謝状			
1917	大正	6	54 歳	四阪島煙害問題解決に関し東予四郡長より感謝状			
1918	大正	7	55 歳				
1919	大正	8	56 歳	郡会議員及び議長			
1920	大正	9	57 歳				
1921	大正	10	58 歳	桜井信用組合理事			
1922	大正	11	59 歳				
1923	大正	12	60 歳				
1924	大正	13	61 歳				
1925	大正	14	62 歳				
1926	昭和	1	63 歳				
1927	昭和	2	64 歳	桜井町長以後引続き在職約 12 年	町長		
1928	昭和	3	65 歳		町長		
1929	昭和	4	66 歳		町長		
1930	昭和	5	67 歳		町長		
1931	昭和	6	68 歳		町長		
1932	昭和	7	69 歳		町長		
1933	昭和	8	70 歳		町長		
1934	昭和	9	71 歳		町長		
1935	昭和	10	72 歳	共有山組合長再任．地方森林組合理事六ヶ所．			組合長
1936	昭和	11	73 歳	神社功労者として全国神職会より表彰状．			組合長
1937	昭和	12	74 歳	孫庸子（次男親男の娘）生まれる．神社功労者として県知事より表彰状．			組合長
1938	昭和	13	75 歳	地方自治功労者として県知事より表彰状．地方自治功労者として桜井町より感謝状．植林事業に関し共有山組合より感謝状．	町長		組合長
1939	昭和	14	76 歳	地方自治功労者として全国町村長会より表彰状．神社功労者として神職会より表彰状．	町長		組合長
1940	昭和	15	77 歳		町長		組合長
1941	昭和	16	78 歳	司法保護協会設立に関し松山地方裁判所検事正より感謝状．煙草耕作に関し坂出専売局長より感謝状．	町長		組合長
1942	昭和	17	79 歳	大政翼賛会郡各種顧問評議会．桜井町長辞職．	町長		組合長
1943	昭和	18	80 歳	桜井町農林財団法人理事．植林事業に関し共有山組合より頌徳碑建設（九和村法界寺）			組合長
1944	昭和	19	81 歳	植林事業に関し下朝倉村外ニヶ村組合より頌徳碑建設（下朝倉村古谷）			組合長
1945	昭和	20	82 歳	妻テイ逝去			組合長
1946	昭和	21	83 歳	人事調停委員			組合長
1947	昭和	22	84 歳				組合長
1948	昭和	23	85 歳	共有山組合長辞職（公職追放のため）．治山治水協会越智支部評議会．植林事業に関し高松宮殿下より表彰記念品御下賜			組合長
1949	昭和	24	86 歳	植林事業に関し県治山治水協会長より表彰．植林事業に関し農林大臣より表彰．			
1950	昭和	25	87 歳				
1951	昭和	26	88 歳				
1952	昭和	27	89 歳				
1953	昭和	28	90 歳				
1954	昭和	29	91 歳	地方自治功労者として桜井町議より胸像建立．植林事業に関し県林業振興大会において造林功労者として表彰．			
1955	昭和	30	92 歳	地方自治功労者として市町村合併に際し感謝状．植林事業に関し黄綬褒章受章．愛媛県立今治南高等学校三十周年記念につき創立功労者として感謝状．			
1956	昭和	31	93 歳	8 月 3 日逝去			

愛媛県総合科学博物館所蔵「曽我部右吉八十八年之略歴」「曽我部右吉九十三年之略歴」を元に一部加筆修正の上作成

赤字…地方自治に関する受賞
青字…四阪島煙害問題解決に関する受賞
緑字…植林事業に関する受賞
紫字…その他に関する受賞

図２　明治 39 年頃の煙害地地図（四阪島煙害関連資料 No.127）　愛媛県総合科学博物館所蔵

写真 2　明治 43 年煙害問題解決紀念写真（四阪島煙害関連資料 No.158）　愛媛県総合科学博物館所蔵

図３　明治 43 年契約書（四阪島煙害関連資料 No.155）　愛媛県総合科学博物館所蔵

写真３　曽我部右吉胸像
（今治市桜井６丁目２番１号　綱敷天満神社内）
2012.04.06 撮

写真４　曽我部右吉頌徳碑
（今治市玉川町法界寺　国道 317 号沿い）
2012.04.06 撮

写真５　曽我部右吉頌徳碑
（今治市古谷　多伎神社奥）
2012.04.06 撮

四阪島煙害関連資料の概要

資料の年代は，主に明治 39 年から明治 43 年に集中している．煙害が明らかになり，右吉が東予四郡代表主席として多くの機関と交渉を開始してから，住友と契約を締結するに至るまでのその 5 年間の記録が中心となっている．それ以後，賠償契約会に関する書類も残っているが，第一線を退いているため直接的な対外交渉記録は少ない．

資料を分類別にみると，「直筆記録」の日誌は，明治 35 年から昭和 31 年まで揃っている．ほとんど 1 日 1 行であるが，右吉の足跡を辿ることができる．「受信手紙」には，煙害問題妥協解決記念品寄贈に対する御礼状が多いが，明治 42 年尾道会議直前に久保無二雄から受け取った手紙等もある．「電報」は，明治 41 年 8・9 月及び明治 42 年 4・5 月のものである．これら以外にも，受信手紙・電報は多く残されているが，それらは「綴り」内に綴じられているため累計していない．「名刺」からは，当時の交流を知ることができる．前述の「綴り」には，桜井村，煙害調査会，煙害除害同盟会等として関係各所と交渉した記録が綴じられている．また，受け取った記録のみならず，送付した文書・手紙・電報等の写しや控えもある．「リーフレット・冊子類」には，煙害救済請願のために作成した請願書が多く残っている．「書類」には，様々な資料が含まれているが，この中に印入りの明治 43 年契約書原本，そして昭和 14 年協定書がある．「新聞切抜」には，煙害問題に関する当時（大正・昭和初期）の記事，及び過去の公害を振り返る昭和後期の記事がある．「書物」は，印刷・配布された書籍類をまとめた．被害代表者，技師，県，住友等，多方面から煙害に関する記録が残されている．「親男関係資料」は，右吉の次男である曽我部親男が残した資料が主であり，右吉略歴や右吉放談の記録，借用書等がある．

これら 224 点の資料を総合的にみていくことで，右吉がどのような電報や手紙を誰に送りどのような返事が来たか，誰といつどこで会ったか，どのような交渉をして進展はどうであったか等，煙害問題解決までの道程を辿ることができる．

凡　　例

目録の作成にあたり，資料を次の 10 種類に分類した．1）直筆記録，2）受信手紙，3）電報，4）名刺，5）綴り，6）リーフレット冊子類，7）書類，8）新聞切抜，9）書物，10）親男関係資料（写真 6 ～ 16）．これら 10 分類の中でそれぞれ年代順に配列し，通し番号を付けた．記載項目は，資料名，年代，著者等，数，備考である．数は，同じものが複数部ある資料のみ，その合計数を記した．備考は，資料の状態や内容について補足的に記した．5）の綴り 1 点（1 式）の中には，受信文書や受信手紙・電報，送信文書写し等，数十点から数百点が綴られている．その綴りを解きそれぞれの種類に分類することも可能であったが，当時それらが一纏めにされた事を重視し，精査が進んでいない現段階での解体は控え，綴った状態で 1 点と数えることとした．なお，8）の新聞切抜には，曽我部親男（右吉の次男）の収集資料も含まれる．

曽我部右吉　四阪島煙害関連資料目録

番号	分類	資料名	年　代	著者等	数	備　考
1	直筆記録	日誌	明治 35 年 10 月～明治 36 年	曽我部右吉		
2	直筆記録	日誌	明治 37 年 1 月～明治 40 年 4 月	曽我部右吉		
3	直筆記録	日誌	明治 40 年 5 月～明治 42 年	曽我部右吉		
4	直筆記録	手帳（詳細日誌）	明治 42・43 年	曽我部右吉		明治 42 年 4 月 19 日～5 月 24 日（尾道会議），明治 43 年 1 月 17 日～2 月 5 日（東京請願）
5	直筆記録	日誌	明治 43 年～大正元年	曽我部右吉		
6	直筆記録	日誌	大正 2 年～大正 3 年	曽我部右吉		
7	直筆記録	日誌	大正 4 年～大正 6 年	曽我部右吉		
8	直筆記録	日誌	大正 7 年～大正 9 年	曽我部右吉		
9	直筆記録	日誌	大正 10 年～大正 12 年	曽我部右吉		
10	直筆記録	日誌	大正 13 年～昭和元年	曽我部右吉		
11	直筆記録	日誌	昭和 2 年～昭和 3 年	曽我部右吉		
12	直筆記録	著書原稿	昭和 2 年 1 月 15 日	曽我部右吉		「鉱煙害之記」 コピー，未発行
13	直筆記録	論説原稿	昭和 3 年	曽我部右吉		「昭和 3 年四阪島製錬所ニ於ケル製錬操作ニ対スル批判」
14	直筆記録	論説原稿	昭和 3 年	曽我部右吉		「昭和 3 年四阪島製錬所ニ於ケル製錬操作ニ対スル批判ノ各表」
15	直筆記録	日誌	昭和 4 年～昭和 5 年	曽我部右吉		
16	直筆記録	日誌	昭和 6 年～昭和 8 年	曽我部右吉		
17	直筆記録	日誌	昭和 9 年～昭和 10 年 4 月	曽我部右吉		
18	直筆記録	日誌	昭和 10 年 5 月～昭和 12 年 6 月	曽我部右吉		
19	直筆記録	日誌	昭和 12 年 7 月～昭和 14 年 6 月	曽我部右吉		
20	直筆記録	日誌	昭和 14 年 7 月～昭和 17 年 3 月	曽我部右吉		
21	直筆記録	日誌	昭和 17 年 4 月～昭和 18 年 6 月	曽我部右吉		
22	直筆記録	日誌	昭和 18 年 7 月～昭和 19 年	曽我部右吉		
23	直筆記録	日誌	昭和 20 年	曽我部右吉		
24	直筆記録	日誌	昭和 21 年	曽我部右吉		
25	直筆記録	日誌	昭和 22 年～昭和 23 年	曽我部右吉		
26	直筆記録	日誌	昭和 25 年～昭和 27 年	曽我部右吉		
27	直筆記録	日誌	昭和 28 年～昭和 31 年 5? 月	曽我部右吉		
28	受信手紙	曽我部右吉殿　至急	明治 42 年 4 月 5 日（消印明治 42 年 4 月 5･6 日）	大阪東区北浜五丁目　住友総本店ニテ　久保無二雄		「十五日ヨリ松山ニ於テ会見ノ儀ニ関シ・・・甚ダ困難・・・大阪ニ於テ会見ノ事・・今一度御協議･･･」 この手紙に対しての返信電報メモ付．消印 4 月 3・4 日の封筒が表に付．こより綴じ．
29	受信手紙	曽我部右吉様	明治 42 年 4 月 12 日（消印明治 42 年 4 月 12 日）	武内農商課長		尾道会議直前の手紙 「尾道に於いて煙害に関する議会開催に就いて・・・」武内鼎吉
30	受信手紙	曽我部右吉殿　親展	明治 42 年 4 月 13 日（消印明治 42 年 4 月 13 日）	新居郡新居浜　久保無二雄		尾道会議直前の手紙 「来ル二十日ヨリ尾道ニ於テ・・・，大阪住友総本店気付小生宛ニ・・・」
31	受信手紙	鶴水館ニテ　曽我部右吉殿	明治 42 年 4 月 27 日（消印明治 42 年 4 月 27・28 日）	木村良		尾道会議中の手紙　書中に冨田・加藤・才賀・夏井・渚の名前あり
32	受信手紙	曽我部右吉殿　親展	明治 44 年 12 月 11 日(消印 明 治 44 年 12 月 11・13 日）	東京西ヶ原農事試験場　古在由直		挨拶状「煙害問題解決記念品有難く存じ候」20 名連名
33	受信手紙	曽我部右吉殿　親展	明治 45 年 1 月 5 日（消印明治 45 年 1 月 6 日）	愛媛県農会　岡田温		御礼状「煙害問題解決紀念品御贈典ノコト・・・」
34	受信手紙	曽我部右吉殿	大正 3 年 1 月 12 日（消印大正 3 年 1 月 12・14・15 日）	帝国農会　木村良		新年挨拶等「近日中に上京･･･微力ながら･･･」東京日本橋区米沢町ニノ五．東京市赤坂区溜池町ニ一番地帝国農会
35	受信手紙	曽我部右吉殿　外各位御中	大正 3 年 11 月 13 日（消印大正 3 年 11 月 13 日）	本多静六		御礼状「円満妥協成立おめでとうございます．あまり力にもなれず恐縮ですが，御芳志ありがたくいただきます．

36	受信手紙	曽我部右吉殿		大正 3 年 11 月 19 日（消印大正 3 年 11 月 20・22 日）	米丸忠太郎	御礼状 「長らく御地へ出張の折は御厚遇に対し深く御礼申し上げ候」 封筒日付も 11 月 19 日.
37	受信手紙	曽我部右吉殿	急親展	大正 3 年 12 月 1 日（消印大正 3 年 12 月 1･3 日）	米丸忠太郎	明治 44 年～大正 2 年に至る煙害地坪刈に出張した技手の人名と回数を通知.「岡田姓 2 名おり，岡田芳穂と書すべきところを岡田嘉一と誤記･･･御調べ下さい」封筒日付も 12 月 1 日.
38	受信手紙	曽我部右吉殿	親展	大正 3 年 12 月 1 日（消印大正 3 年 12 月 2･4 日）	野村右□	御礼状「第二回煙害賠償記念トシテ御贈与ニ預リ・・・」（東京市前巣鴨村字安仲）封筒日付も 12 月 1 日.
39	受信手紙	鉱毒地代表員部右吉殿	曽我	大正 3 年 12 月 6 日（消印大正 3 年 12 月 11・13 日）	独逸加里シンジゲート日本農業部 農学士 小林房次郎	御礼状
40	受信手紙	曽我部右吉様 親展	至急	大正 3 年 12 月 7 日（消印大正 3 年 12 月 7･9 日）	米丸忠太郎	質問「技手は三回以上云々の先の御手紙の御内意を教えて下さい.」（東京本郷駒込神明町三ニ四）封筒日付も 12 月 7 日.
41	受信手紙	曽我部右吉様	親展	大正 3 年 12 月 7 日（消印大正 3 年 12 月 8･10 日）	米丸忠太郎	代議士二人の連絡先を知らせる.（東京本郷駒込神明町三ニ四）封筒日付は 12 月 8 日.
42	受信手紙	曽我部右吉様	親展	大正 4 年 1 月 16 日（消印大正 4 年 1 月 16･18 日）	大阪府河内柏原農事試験場畿内支場 加藤茂苞	御礼状 「先般は煙害地御一同より結構なる銀製湯沸御恵贈・・・」
43	受信手紙	曽我部右吉殿	親展	大正 4 年 1 月 16 日（消印大正 4 年 1 月 18･20 日）	東京府下西ヶ原農事試験場 今関常次郎	御礼状 「四阪島鉱煙害問題第二回妥協解決記念品御恵贈御芳情に感謝します.」
44	受信手紙	曽我部右吉殿		大正 4 年 1 月 16 日（消印大正 4 年 1 月 19･20 日）	東京西ヶ原農事試験場 坂本義房，鈴木重助	御礼状 「四阪島煙害問題第二回妥協解決記念品御寄贈に預り有難し」（印有）
45	受信手紙	曽我部右吉殿		大正 4 年 1 月 17 日（消印大正 4 年 1 月 17･18 日）	東京西ヶ原農事試験場 松隈六郎	御礼状
46	受信手紙	曽我部右吉殿		大正 4 年 1 月 18 日（消印大正 4 年 1 月 18･20 日）	東京市外西原農事試験場 川島禄郎	御礼状「四阪島煙害問題第二回妥協解決記念品御寄贈に預り有難し御礼申上げ候」
47	受信手紙	曽我部右吉殿	親展	大正 4 年 1 月 19 日（消印大正 4 年 1 月 20･22 日）	東京市外西原農事試験場ニテ 古在由直	御礼状「鉱煙問題第二回解決・・・記念品御寄贈に預り・・」
48	受信手紙	曽我部右吉様		大正 4 年 1 月 20 日（消印大正 4 年 1 月 21･22 日）	米丸忠太郎	御礼状「御礼心苦しく返送も考えたが迷惑をかけてもと思いうけとることにした．全員に挨拶状を出すこともままならず，連名で手紙（石原実太郎殿等）を同封している.」
49	受信手紙	曽我部右吉殿 礼状	至急	大正 4 年 1 月 25 日（消印大正 4 年 1 月 25 日）	東京西ヶ原農事試験場 西山晴寿	御礼状 「第二回妥協解決紀念品の御寄贈に有難く感謝」
50	受信手紙	曽我部右吉殿	親展	大正 4 年 1 月 28 日（消印大正 4 年 1 月 28･29 日）	農事試験場 難波本蔵	御礼状 「一同有難く頂戴し御厚情に対し厚く御礼申し上げる」 大阪府南河内郡柏原町 農事試験場畿内支場
51	受信手紙	曽我部右吉様		大正 4 年 2 月 9 日（消印大正 4 年 2 月 10・11 日）	満田隆一	御礼状 「代表者の熱烈なる尽力による賜物であり，記念品恐縮します．昨冬から母大病のため看護・・」
52	受信手紙	曽我部右吉殿		5 月 18 日（消印大正？13 年 5 月 18 日）	西高近信雅	挨拶状 （福岡県太宰府町）
53	受信手紙	曽我部右吉殿	親展	封筒日付大正 14 年 4 月 22 日（消印大正 14 年 4 月 22 日）	農民連盟 会頭農学博士横井時敬 副会頭農学博士中村彦	会費援助願い及び農民連盟賛成人御芳名.「謹啓初春之候貴家益々御清勝奉賀候陳者此度本連盟之趣旨に御賛成被成下感激の至りに御座候 就ては・・・」5 月 12 日拾円送リタリと右吉の記載有.
54	受信手紙	曽我部右吉殿		大正 14 年 5 月 18 日（消印大正 14 年 5 月 18 日）	農民連盟 会頭農学博士横井時敬 副会頭農学博士中村彦	御礼状 「・・・多大の御後援御尽力を賜り度々邦家の為め懇願の至りに御座候右御礼旁挨拶申上候」
55	受信手紙	曽我部賢□ 侍史		5 月 6 日（昭和 3 年？）	今治市 順成舎にて 米丸忠太郎	提供報告添付文書「昭和 3 年調査報告において別添報告の一部を記入したらどうであろうか，概要を口述する適否も御考え置き下さい.」

56	受信手紙	5月8日の愛媛新報の四阪島製錬所に関する広告記事を読んで	昭和4年	煙海（米丸忠太郎？）	全12枚．原稿用紙1枚添付，昭和4年5月8日新聞記事（写）付.
57	受信手紙	曽我部右吉様　親展	昭和5年8月10日（消印昭和5年8月10日）	米丸忠太郎	御見舞状に対する御礼と焼鉱量問題について
58	受信手紙	曽我部賢□　侍史	昭和5年8月26日（封筒無）	忠太郎	住友別子鉱山株式会社に対する批判及び具体的な注意点等，病床からの手紙．全40枚.
59	受信手紙	曽我部右吉様　親展	昭和5年？9月18日(切手消印切取)	米丸忠太郎	硫酸収率好成績に対する不信，心配等，病床からの手紙.
60	受信手紙	曽我部右吉様	昭和5年12月15日（消印昭和5年12月15日）	米丸忠太郎	心配に対する御礼と病状の報告等　「・・山川医学博士より十分静養すべきこと戒められ・・・暫く解放に向ひ幸に死線を越しこの頃は・・・」
61	受信手紙	曽我部右吉様　親展	昭和6年9月6日（消印昭和6年9月6日）	米丸忠太郎	加藤議員から「農林大臣宛陳情書提出あり」との連絡を受けたが，新事情があった上での陳情書提出なのか，心配等・・・.
62	電報	送達紙（受信人マツヤマキイトクニテソガベウキチ）	明治41年8月28日（著局日付印　松山　明治41年8月28日）	発信人一シキ　発局ニウカワ	「一シキアヲノ三ジウキチタツユケ」
63	電報	頼信紙（受信人今治石原実太郎）	？	ソカヘ	「スミトモジウヤクケツギヲヒニンノホウシンテハコブ」「三日午後九時」（日付印等無し，下書きか）
64	電報	頼信紙（受信人大坂市清水幸太郎）	？	ソカベ	「グンニテモジウヤクケツギヲヒニンノヨウスワレラモヒニンノホウシンアスタイシンニアウ」「三日午後九時」（日付印等無し，下書きか）
65	電報	送達紙（受信人フジミテウマツバクワンソガベウキチ）	明治41年9月4日（著局日付印　九段　明治41年9月4日）	発信人イシハラ　発局イマハル	「ニヒタイカイニヲイテスミトモケツギヲヒニンシ三〇ヒカンサギヨウノテイシヲセイキウスルコトニケツセリソノホウシンニテハコバレタシ」
66	電報	頼信用メモ？	明治41年9月5日	ソカヘ	「スズキナカタカヘリタフノチニテハナシセヨ」
67	電報	送達紙（受信人フジミマツバカンニテソカベウキチ）	明治41年9月4日（著局日付印　九段　明治41年9月4日）	発信人シミズ　発局ウナキタニ	「ユカワニメンカイタイドツヨシヤリタマエ」
68	電報	送達紙（受信人コウジマチフジミマチマツバカンウチソガベウキチ）	明治41年9月5日（著局日付印　九段　明治41年9月5日）	発信人三　発局ウナキタニ	「スズキナカタニソノチニテメンカイシタカケツギノイギハナシタカ」　この電報に対する返信内容のメモ書き有→「コチラニテハアヘナンダホンシヨウニテハイギノチンジヨウシタ」
69	電報	送達紙（受信人フジミテウマツハクワンニテソガヘウキチ）	明治41年9月5日（著局日付印　九段　明治41年9月5日）	発信人シミズ　発局ウナギダニ	「スズキユガワニカウシヨシタダンパンフミヨウイカガスヘン」
70	電報	頼信紙(受信人清水）	？	ソカヘ	「シユダンアルカギリツクサレタシ」「六日朝」（日付印等無し，下書きか）
71	電報	送達紙（受信人フジミマツバカンニテソガベウキチ）	明治41年9月6日（著局日付印　九段　明治41年9月6日）	発信人シ　発局ウナギタニ	「シカタナイアスカエロカキチヨヲスキカセ」
72	電報	頼信紙(受信人清水）	？		「サラニヨウリヨウヲエスクシンシテオルスイサツヲコウ」（日付印等無し，下書きか）
73	電報	送達紙（受信人コイジマチフジミテウマツバカンニテソガベウキチ）	明治41年9月7日（著局日付印　九段　明治41年9月7日）	発信人シ　発局ウナギタニ	「シカタナイアスカヘルイツカヘルカヘン」　この電報に対する返信内容のメモ書き有→「タイシンニマダアヘヌカヘルヒキマラヌ　ソ　八日朝返事」
74	電報	送達紙（受信人オチゴウリサクライムラヤクバソガベウキチ）	明治42年4月8日（著局日付印　伊予桜井　明治42年4月8日）	発信人クボ　発局オサカ	「キデンハイケンマツヤマニテカイケンノコトハテガミニテモウシタルトウリハナハダコンナンナリツイテハ一〇ヒゴゼンイマハルニテオメニカカリトクトゴソウダンシタシツゴウヘンデンコウカイクワイキジツハスコシノビテモツカエナシトオモウ」
75	電報	頼信紙（受信人大坂市北浜五丁目住友本店　久保無二雄）	？	発信人ソカベ	「一〇ヒイマハルニテオメニカカリゴソウダンスコラレタシ」（日付印等無し，下書きか）
76	電報	送達紙（受信人オチグンサクライムラソガベウキチ）	明治42年4月8日（著局日付印　伊予桜井　明治42年4月8日）	発信人フカミ　発局マツヤマ	「アスカエリユクＬ　カイノマニアワヌハカライクレ」
77	電報	送達紙（受信人サクライムラソガベウキチ）	明治42年4月10日（著局日付印　伊予桜井　明治42年4月10日）	発信人ヨシチユクボ　発局イマハル	「ヒルマエヨリオマチシタイツオイデカ」
78	電報	送達紙（受信人サクライムラソガベウキチ）	明治42年4月15日（著局日付印　伊予桜井　明治42年4月15日）	発信人クボ　発局オサカ	「ゴライイセウチシタ」

79	電報	送達紙（受信人オチグンサクライソガベウキチ）	明治 42 年 4 月 15 日（著局日付印　伊予桜井　明治 42 年 4 月 15 日）	発信人ナカムラ　発局イマハル		「カトウワタナベサイガヨリシヨジウチアワセノタメイインヒトリライハンノデンホウアリイシハラエダデンシタ」
80	電報	打電記録（木村良宛打電）	明治 42 年 4 月 15 日夜	曽我部右吉		「エンガイノコトスミトモトコウシヨウカイニ〇ヒヨリオノミチニテヒラクキカクリアワセゴリンカイクダサシタシイサイカトウクンヨリキカレタシ　ソカヘウキチ」
81	電報	送達紙（受信人サクライムラソガベウキチ）	明治 42 年 5 月 10 日（著局日付印　伊予桜井　明治 42 年 5 月 10 日）	発信人ナカムラ　発局イマハル		「シノミチソウキンタノム」 郵便物受領証とともにこより綴り
82	名刺	青野岩平				愛媛県周桑郡庄内村
83	名刺	池内信嘉				能楽会理事　牛込区船河原町
84	名刺	井手留一				株式会社日進印刷所　新居浜市新田町
85	名刺	犬養毅				
86	名刺	井林博政				
87	名刺	今宮喜久治				鉱山監督署技手
88	名刺	宇都宮胖蔵				大阪朝日新聞社
89	名刺	岡田和一郎				麹町三番町
90	名刺	小倉正恆			2	住友総本店副支配人
91	名刺	加藤正恵			3	衆議院議員　芝區芝公園第 6 号　愛媛県新居郡多喜浜村
92	名刺	神田秀一				伊予日々新聞記者
93	名刺	木村良				衆議院議員
94	名刺	合田福太郎				
95	名刺	曽我部右吉			2	
96	名刺	高橋秀臣				
97	名刺	田中松太郎				苗水商　温泉郡北吉井村大字横河原駅前
98	名刺	津久居彦七				衆議院議員
99	名刺	長谷部倉藏			2	愛媛県周桑郡小松町
100	名刺	原高行				別子鉱業株式会社別子鉱業所庶務課
101	名刺	彦惣繁藏				福井県大飯郡本郷村
102	名刺	深見寅之助			2	愛媛県越智郡東伯方村大字木浦
103	名刺	松浦充美				
104	名刺	松木幹一郎				帝国鉄道院参事
105	名刺	村上健一				大阪毎日新聞社
106	名刺	森早苗				鉄道院技師
107	綴り	煙毒関係書類	明治 39 年起	桜井村		明治 39 年 8 月から 41 年 9 月までの関係各所との交渉記録（手紙・電報）．久保無二雄とのやりとりも．
108	綴り	煙害関係書類	明治 39 年起	煙害調査会		明治 39 年 10 月から明治 41 年 7 月までの関係各所との交渉記録（農商務大臣・鉱山監督署等）
109	綴り	煙害関係諸記	明治 39 年起	煙害調査会		明治 39 年 7 月から明治 41 年 9 月，会則，煙害調査上の諸記録や陳情書等．
110	綴り	会計簿	明治 39 年起	十四ケ村組合煙害調査会		明治 39 年 8 月から明治 41 年度の収支録
111	綴り	受領書	明治 39 年起	十四ケ村組合煙害調査会		明治 39 年 12 月から明治 41 年の受領書．華山，順成舎，旭屋等．粂川楼等．
112	綴り	受領書綴	明治 41 年度	十四ケ町村煙害調査会		延忠，順成舎，旭屋等の領収書の他，車代，電報代等．
113	綴り	諸記録及雑書綴	明治 41 年 8 月　42 年末迄	煙害除害同盟会		
114	綴り	煙害交渉会記録	明治 42 年	煙害除害同盟会		
115	綴り	煙害関係書類　上京録	明治 42 年	曽我部右吉		明治 42 年 1 月 17 日から 2 月 23 日，明治 43 年 1 月 17 日から 2 月 10 日までの東京滞在中の記録
116	綴り	煙害請願書	明治 42 年 43 年			四坂島及千原鉱山煙害救済ニ付請願（写），四坂島煙害調査要項等の綴り．
117	綴り	諸記録及雑書綴	明治 43 年 1 月起　大正元年末迄	煙害除外同盟会		
118	綴り	煙害妥協会録	明治 43 年 10 月			
119	綴り	煙害交渉要録	明治 43 年 10 月	曽我部右吉		明治 43 年 10 月 24 日から 11 月 9 日までの詳細議事録（文字は曽我部の筆跡ではない）
120	綴り	煙害妥協関係雑書	明治 43 年 10 月	曽我部右吉		明治 43 年 10 月下旬から 11 月上旬の煙害妥協に至るまでの記録や受け取った電報・手紙等の綴り．葉書 3 枚添付

121	綴り	諸記録及雑書綴	大正２年１月起　大正３年末迄	煙害除外同盟会		
122	綴り	煙害雑書綴	大正２年１月ヨリ	曽我部		大正２年１月から大正４年３月までの煙害費収支録等
123	綴り	煙害妥協会書類	大正２年 10 月起	曽我部右吉		大正２年 10 月から大正３年２月の記録
124	綴り	諸記録及雑書綴　煙害之件	大正４年１月起	曽我部		公文書（深町知事から），手紙写（久保無二雄宛）等
125	綴り	煙害関係書	昭和 14 年起	曽我部		昭和 14 年 11 月から 15 年３月までに受け取った公文書．（県，除害同盟会）
126	リーフ冊子類	測量機械宣伝	明治 35 年 12 月 10 日	東京測量機械製造合資会社		１枚もの（大きさＢ３くらい）
127	リーフ冊子類	煙害地地図	明治 38 年～ 40 年頃？	？	2	１枚もの（大きさＡ２より少し大きい）
128	リーフ冊子類	煙害調査書	明治 39 年 11 月 21 日	岡田温	2	越智郡農会御中
129	リーフ冊子類	冊子「四坂島及千原鉱山煙害救済ニ付請願（写）」	明治 42 年２月		5	
130	リーフ冊子類	冊子「四坂島煙害調査要項」	（明治 42 年２月？）		5	
131	リーフ冊子類	番地入東京市全図	明治 43 年１月 10 日訂正再版	雄文館		１枚もの（大きさＢ２くらい）
132	リーフ冊子類	四阪島煙害救済請願書写	明治 43 年１月 25 日	愛媛県越智郡新居郡提出	12	１枚もの
133	リーフ冊子類	四阪島煙害救済請願書写	明治 43 年１月 25 日	愛媛県周桑郡提出	13	１枚もの
134	リーフ冊子類	千原鉱山煙害救済請願書写	明治 43 年１月 25 日	愛媛県周桑郡提出	12	１枚もの
135	リーフ冊子類	貴衆両院議席番号宿所便覧	明治 43 年１月 25 日	織田多賀		１枚もの（大きさＢ３くらい）
136	リーフ冊子類	冊子「四阪島鉱煙害事件解決　感謝状及紀念品贈呈録」	明治 44 年 10 月	鉱煙害解決四郡代表者		四阪島鉱煙害事件解決につき，大臣，知事，技師博士，代議士，次官，局長，試験場長等へ
137	リーフ冊子類	冊子「鉱農妥協不調顛末録」	大正２年 12 月 24 日	？		
138	リーフ冊子類	冊子「第 11 回四阪島煙害賠償協議会会議録」	昭和 14 年 10 月 31 日～ 12 月４日	経済部農務課？		10 月 31 日，11 月６日，12 月２日，12 月４日議事録
139	書類	四阪島煙毒除害同盟会会則	明治 41 年８月	越智郡煙害除外同盟会		「四阪島煙毒除害同盟会役員実費弁償方法」付．
140	書類	明治 41 年８月委員名簿	明治 41 年８月	四阪島煙害除外同盟会		大正２年まで就任・退任の追記有
141	書類	官報　第 7592 号	明治 41 年 10 月 14 日	印刷局		詔書，府令等（1 枚もの）
142	書類	周桑郡煙害調査会会則	明治 41 年 10 月 28 日	周桑郡煙害調査会？		「周桑郡煙害調査会費収入及支出規程」等付．
143	書類	建議書	明治 41 年 12 月	福岡県郡部選出衆議院議員的野半助		福岡県県会議長栗田伴藏殿　外県会議員各位（1 枚もの）
144	書類	第 25 回帝国議会衆議院議員及政府委員一覧表	明治 42 年１月 22 日調	衆議院		衆議院公報付録（1 枚もの）
145	書類	公衆傍聴券	明治 42 年２月２日	衆議院		紹介議員武市庫太　傍聴人富士見町松葉館曽我部右吉，小袋付．
146	書類	公衆傍聴券	明治 42 年２月４日	衆議院		紹介議員渡辺修　傍聴人富士見町松葉館曽我部右吉
147	書類	第 25 回帝国議会衆議院　請願委員第三分科員中鉱煙毒調査特別委員会議録（速記）　第２回	明治 42 年２月 12 日	衆議院事務局		明治 42 年２月 12 日午後１時 30 分開議から午後３時 16 分散会までの会議録．（2 枚もの）
148	書類	公衆傍聴券	明治 42 年２月 13 日	貴族院		紹介議員加藤正恵　傍聴人富士見町松葉館曽我部右吉
149	書類	第 25 回帝国議会衆議院　請願委員第三分科員中鉱煙毒調査特別委員会議録（速記）　第４回	明治 42 年２月 19 日	衆議院事務局		明治 42 年２月 19 日午後２時開議から午後３時 42 分散会までの会議録．（2 枚もの）
150	書類	明治 42 年度煙害除害同盟会費予算	明治 42 年３月 24 日	煙害除害同盟会	2	写．１枚もの(大きさＢ４くらい)2 部とも朱書入．

151	書類	代表委員招集	明治 42 年 4 月 8 日	曽我部右吉 真鍋周三郎 石原実太郎		写．1 枚もの（大きさＢ 4 くらい）「本月十日正午郡役所迄御来会・・・今日久保支配人今治迄来らる由ニ・・」
152	書類	久保へ宛てた手紙の写し？	明治 42 年 4 月 14 日	曽我部右吉		「尾道会見の日延期の・・・関係多方面・・・困り入り」1 枚もの（Ｂ 5）
153	書類	明治 42 年度煙害除害同盟会費予算　追加	明治 42 年 8 月 14 日	煙害除害同盟会	4	写．1 枚もの（大きさＢ 4 くらい）4 部のうち 1 部は虫食い破れ有．
154	書類	煙害救済ノ儀ニ付請願	明治 42 年 12 月		2	写．1 枚もの
155	書類	明治 43 年契約書	明治 43 年 11 月 9 日	甲：鈴木馬左也		印有．小袋，大袋付き
156	書類	明治 43 年付帯契約書	明治 43 年 11 月 11 日	甲：鈴木馬左也		印有．明治 43 年 11 月 9 日締結した契約の付帯契約
157	書類	明治 43 年の利子について	明治 43 年 11 月 11 日	鈴木馬左也		印有．
158	書類	明治 43 年煙害問題解決紀念写真	明治 43 年			複写による焼増（昭和？）か？
159	書類	米丸博士宛明治 43 年契約書について	明治 43 年 12 月 22 日	曽我部右吉		米丸博士からの依頼「第一回妥協の折の契約書の写しを見せてほしい」に対する曽我部右吉からの返信（写）茶封筒付
160	書類	修正意見・煙害関係者調	？			18 ページのこより綴り．明治 41 年～ 44 年の技師一覧表 2 枚付．
161	書類	紀念品贈呈名簿	明治 44 年	四郡代表者		案？　明治 45 年 2 月東予四郡連合関係も添付
162	書類	大正 2・3 年契約書の報告	大正 3 年 2 月 25 日	煙害被害者代表者		写．町村長宛，契約書の報告（報告日大正 3 年 2 月 25 日）．大正 2・3 年契約書，大正 2 年付帯契約書も同綴に有．茶封筒入．
163	書類	関係技手綴	（大正 3 年頃？）	曽我部右吉		技手らを確認するメモ．同綴に大正 3 年 11 月 9 日の領収書や大正 3 年 10 月武内農商課長からの技手照会手紙（印入）有．
164	書類	大正 2 年分　負担改算表	大正 4 年 2 月 18 日	同盟会常務委員	12	写．1 枚もの．
165	書類	大正 4 年度収支予算	大正 4 年 2 月 18 日	同盟会常務委員	5	写．1 枚もの．各町村負担金表．
166	書類	大正 5 年契約書	大正 5 年 7 月 24 日	中田錦吉		写．付帯契約書，委任状も同綴に有
167	書類	昭和 5 年契約書	昭和 5 年 11 月 22 日	鷲尾勘解治		写．誓約書も同綴に有．茶封筒付
168	書類	メモ「昭和八年の契約」	昭和 8 年？	曽我部右吉？		賠償金額等．
169	書類	メモ「昭和八年ヨリ十年に至る三ヶ年約束」	昭和 9 年？	曽我部右吉？		賠償金額等．
170	書類	昭和 8 年契約書	昭和 8 年 10 月 27 日	龍野昌之		写．茶封筒付．
171	書類	農民側，鉱主側双方提出内容摘録報告等	昭和 11 年 10 月 13 日	加藤徹太郎		曽我部村瀬両顧問宛．全 2 枚（封筒無）
172	書類	昭和 12 年？契約書（案？）	？	三村起一		写．茶封筒「煙害関係書類」付
173	書類	昭和 12 年？契約書（案？）	昭和 12 年 1 月？日	三村起一		写．挨拶要旨も同綴りに有
174	書類	昭和 12 年経過報告書	昭和 12 年 1 月 21 日	加藤徹太郎		写．農林省山林局長村上龍太郎氏，農事試験場安藤広太郎氏，衆議院議員河上哲太氏宛の経過報告書 1 枚（封筒無）
175	書類	昭和 12 年契約書	昭和 12 年 3 月 23 日	住友別子鉱山株式会社代表者三村起一，越智，周桑，宇摩三郡今治市被害民代表者加藤徹太郎ほか 9 名		写．挨拶要旨も同綴りに有．茶封筒付
176	書類	覚書（資料貸し）	昭和 12 年 4 月 26 日	曽我部右吉		県の前川技手へ，「明治 39 年起煙害関係諸記」等 9 冊
177	書類	覚書（資料貸し）	昭和 12 年 11 月 26 日	曽我部右吉		県の前川技手へ，多数の旧記書類
178	書類	昭和 14 年協定書	昭和 14 年 12 月 14 日	住友鉱業株式会社，被害民代表者，県知事		印有．封筒付き

179	書類	昭和 14 年附属協定書	昭和 14 年 12 月 14 日	住友鉱業株式会社，被害民代表者，県知事	印有．昭和 14 年 12 月 14 日に締結した協定書の附属協定書
180	書類	昭和 14 年協定書，附属協定書，知事挨拶要旨	昭和 14 年 12 月 14 日	住友鉱業株式会社，被害民代表者，県知事	写．
181	書類	越智郡今治市煙害同盟会会則	昭和 15 年 9 月 28 日	煙害同盟会	煙害同盟会最後の覚書．昭和 13 ～ 15 年度同盟会経費予算書添付．袋入り．
182	書類	周桑郡煙害調査費負担資格調	？	？	周桑郡内の村・大字ごとの田・畑・宅地・山林面積
183	新聞切抜	煙害問題愈解決	大正 5 年 7 月 25 日	愛媛新報	知事内示案に同意（大正 5 年 7 月 26 日記事と貼付・茶封筒入）
184	新聞切抜	煙害賠償契約成立	大正 5 年 7 月 26 日	愛媛新報	条件農民側に有利（大正 5 年 7 月 25 日記事と貼付・茶封筒入）
185	新聞切抜	別子銅山鉛害問題	大正 8 年 8 月 2 日	朝日新聞	成立したる協定の内容（大正 8 年 6 月 18 日記事裏面貼付・茶封筒入）
186	新聞切抜	煙害賠償契約書	大正 12 年 4 月 18 日	大阪朝日新聞	契約書全文掲載（茶封筒入）
187	新聞切抜	契約書に調印	大正 14 年 7 月 4 日	愛媛新報	四日午後一時正式に東予煙害賠償協議終了（茶封筒入）
188	新聞切抜	煙害賠償特別寄付金十万円の分配額決定	大正 15 年 7 月 29 日	愛媛新報	東予一市四郡に夫々　最高は越智郡 四万四千七十九円（茶封筒入）
189	新聞切抜	住友からの煙害賠償	昭和 3 年 5 月 29 日	大阪朝日　香川愛媛版	東予一市四郡への分配内訳（茶封筒入）
190	新聞切抜	本県昭和二年度煙害賠償奨励金	昭和 3 年 5 月 29 日	愛媛新報	東予一市四郡への分配内訳詳細（茶封筒入）
191	新聞切抜	本県煙害妥協会愈よ大團圓	昭和 3 年 10 月 11 日	愛媛新報	けふ正午裁定案手交　双方代表異議なく調印（茶封筒入）
192	新聞切抜	きのふ漸く解決　問題の四坂島精錬所	昭和 3 年 10 月 11 日	大阪朝日新聞	煙害賠償契約更生協定　市村知事斡旋し（茶封筒入）
193	新聞切抜	「毒が変じ薬となる」（全面広告）	昭和 4 年 5 月 8 日	愛媛新聞	四阪島の煙害が消えて毒が変じ薬となる　ペテルゼン式の硫酸製造装置が本年六月末に完成する
194	新聞切抜	別子物語　第三部公害とのたたかい《1》	昭和 47 年 10 月 31 日	朝日新聞	鉱毒水 1　赤い水　経営拡大で被害激増
195	新聞切抜	別子物語　第三部公害とのたたかい《2》		朝日新聞	鉱毒水 2　鉄とスギ　仏人の指導で収銅所
196	新聞切抜	別子物語　第三部公害とのたたかい《3》		朝日新聞	鉱毒水 3　よみがえる大地　実った土地改良運動
197	新聞切抜	別子物語　第三部公害とのたたかい《4》		朝日新聞	煙害 1　はげ山　かまから猛烈な白煙
198	新聞切抜	別子物語　第三部公害とのたたかい《5》		朝日新聞	煙害 2　農作物への打撃　「溶鉱炉を止めろ！」
199	新聞切抜	別子物語　第三部公害とのたたかい《6》		朝日新聞	住友のメンツ　国会での追及かわす
200	新聞切抜	別子物語　第三部公害とのたたかい《7》		朝日新聞	いらだつ農民　大きい農作物の被害
201	新聞切抜	別子物語　第三部公害とのたたかい《8》		朝日新聞	長かった道のり　国もようやく調査に
202	新聞切抜	別子物語　第三部公害とのたたかい《9》		朝日新聞	ミスリード　以前よりひどい被害
203	新聞切抜	別子物語　第三部公害とのたたかい《10》		朝日新聞	消えた煙　新方式取入れて脱硫
204	新聞切抜	別子物語　第三部公害とのたたかい《11》		朝日新聞	現在の公害　死んだ海　魚や貝類全滅状態に
205	新聞切抜	別子物語　第三部公害とのたたかい《12》		朝日新聞	涙の撤退　割り切れぬ気持の住民
206	書物	愛媛県農会諸規則	明治 34 年 6 月	愛媛県農会	農会ニ関スル諸法令並ニ農事ニ関スル本県諸規則
207	書物	煙害雑感録	明治 42 年 10 月下旬	石原実太郎	吹城迂人誌　明治 42 年 11 月 27 日発行
208	書物	愛媛県東予煙害史	大正 15 年 12 月 20 日	一色耕平	表紙に「周桑郡之煙害史也」と書かれた紙が貼付されている
209	書物	四阪島製錬所煙害問題の経過と煙害地に処する農耕に就いて	昭和 5 年 4 月 18 日	米丸忠太郎 四阪島煙害除害期成同盟会	昭和 4 年 10 月 27 日米丸忠太郎農学博士が講演した内容．（1 部のみ茶色のハードカバー）（茶封筒付）
210	書物	別子銅山煙害問題ノ経過	昭和 12 年秋	愛媛県経済部農務課	

211	書物	住友四阪島製錬所は如何にして煙を克服したか	昭和 14 年 9 月 10 日	住友鉱業株式会社別子鉱業所	
212	書物	四阪島煙害賠償協議会会議録　上巻	昭和 15 年？	経済部農務課	第 1 回～ 6 回の会議録（明治 43 年 10 月～大正 14 年 7 月）
213	書物	四阪島煙害賠償協議会会議録　下巻	昭和 15 年？	経済部農務課	第 7 回～ 10 回の会議録（昭和 3 年 9 月～昭和 12 年 3 月）　農務課御中上巻下巻の受領書（写）付（受領日は昭和 15 年 7 月 16 日）
214	書物	四阪島製錬所概況	（昭和 30 年頃？）	住友金属鉱山株式会社別子鉱業所　四阪島製錬所	
215	親男関係資料	記録原稿「右吉放談」	昭和 14 年？	曽我部親男	コピー，曽我部右吉の放談を次男である親男が記したもの.
216	親男関係資料	冊子「曽我部右吉八十八年の略歴」	昭和 26 年 2 月	曽我部親男	曽我部右吉の略歴と昭和 18 年頌徳碑の紹介
217	親男関係資料	冊子「曽我部右吉翁九十三年の略歴」	昭和 31 年 7 月 25 日	今治市及玉川村朝倉村組合曽我部右吉翁胸像建設委員会	コピー，昭和 29 年完成の胸像写真や除幕式の様子等.
218	親男関係資料	茶封筒	昭和 31 年 9 月	曽我部親男？	茶封筒のみ．資料分類に使用か.
219	親男関係資料	名刺	昭和 47 年	愛媛新聞社今治支局	名刺裏に曽我部親男のメモ有「昭和 47 年 1 月 11 日御礼を兼ね来る」
220	親男関係資料	御詫状（曽我部親男様）	昭和 47 年 11 月 25 日	朝日新聞松山支局	茶封筒付
221	親男関係資料	借用書（曽我部親男殿）	昭和 50 年 10 月 4 日	ＮＨＫ四国本部製作課	「別子銅山煙害問題ノ経過」，「如何に煙を克服したか」，「煙害調査要項」
222	親男関係資料	借用書（曽我部親男殿）	昭和 50 年 10 月 29 日	愛媛県立今治西高等学校	「煙害同盟会最後の覚書（袋）」等計 10 点
223	親男関係資料	借用書	昭和 51 年？	今治市桜井	履歴書 3 冊
224	親男関係資料	冊子「今墾　第 12 号」		今治西高等学校史学部	コピー（煙害関係一部分）

写真 6　直筆記録（四阪島煙害関連資料 No.1 ～ 27）　愛媛県総合科学博物館所蔵

写真７　受信手紙（四阪島煙害関連資料 No.28 ～ 61）　愛媛県総合科学博物館所蔵

写真８　電報（四阪島煙害関連資料 No.62 ～ 81）　愛媛県総合科学博物館所蔵

写真 9　名刺（四阪島煙害関連資料 No.82 ～ 106）　愛媛県総合科学博物館所蔵

写真 10　綴り（四阪島煙害関連資料 No.107 ～ 125）　愛媛県総合科学博物館所蔵

写真 11　リーフレット・冊子類（四阪島煙害関連資料 No.126 ～ 138）　愛媛県総合科学博物館所蔵

写真 12　書類（四阪島煙害関連資料 No.139 ～ 160）　愛媛県総合科学博物館所蔵

写真 13　書類（四阪島煙害関連資料 No.161 ～ 182）　愛媛県総合科学博物館所蔵

写真 14　新聞切抜（四阪島煙害関連資料 No.183 ～ 205）　愛媛県総合科学博物館所蔵

写真 15　書物（四阪島煙害関連資料 No.206 ～ 214）　愛媛県総合科学博物館所蔵

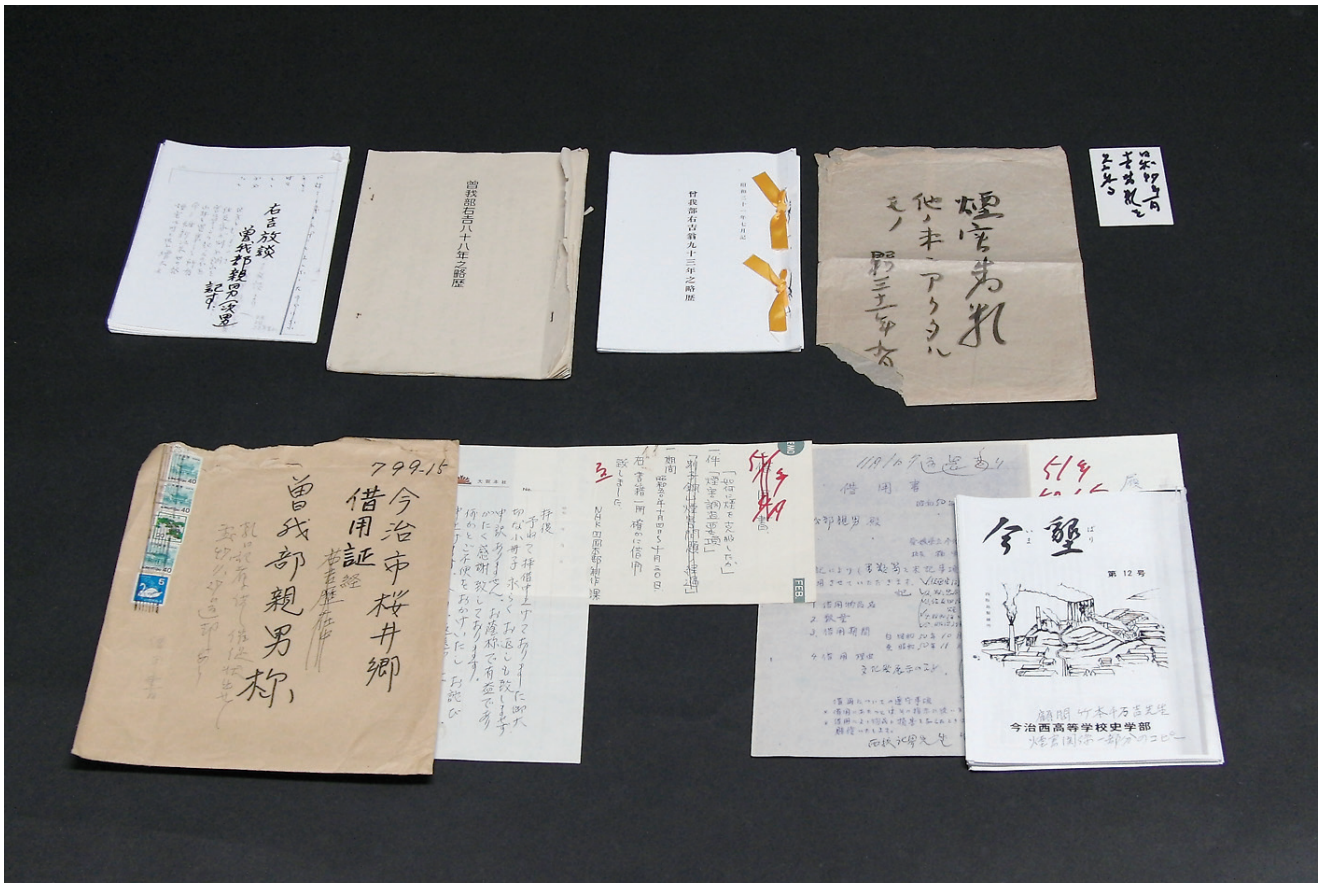

写真 16　親男関係資料（四阪島煙害関連資料 No.215 ～ 224）　愛媛県総合科学博物館所蔵

お わ り に

平成 19 年 11 月 8 日，この日初めて曽我部家を訪ね，通されたお座敷で木箱に入った資料を拝見した．そこには，明治 43 年の煙害問題に係る契約書の原本，煙害関係の交渉記録や書類，そして右吉の日誌や受信手紙等があった．それらは，煙害問題解決までの詳細な変遷を知ることができる大変貴重な生資料であった．博物館で資料を引き取りたい旨申し出たところ，曽我部家は快く承諾していただいた．そして年が明けた平成 20 年 1 月，その寄贈資料を引き取るため曽我部家を再び訪れた．資料を玄関から運び出し車へ積み込もうとしていたその時，それを見守っていた庸子氏が「なんだか大切にしてきた娘を嫁に出すみたいで･･･.」と言葉を詰まらせた．その表情に身の引き締まる思いがしたが，ようやく資料リストがまとまり報告することができる．

これらの資料は，既に県内外の大学から高い評価の声が寄せられているように，単に“公害に直面した一地方の記録”にとどまらない貴重な資料である．現在，「四阪島」という名が世に知られていないのはなぜか．それは早期に煙害問題が妥協的にも解決されたからである．問題が長期化・深刻化していった他鉱山とは対照的に，別子銅山の「四阪島」は次第に人々から忘れ去られ，その名が語り継がれることもなかった．その早期解決へと導いた人物が，曽我部右吉であった．今後，早い時期に資料を精査し，右吉の足跡を公開したい．

謝　　辞

実に百年の時を超え，大切に資料を保管してきた曽我部家に，満腔の敬意を表するとともに厚く御礼申し上げる．また，松山大学の川東竫弘氏には，資料の整理に関して御助言いただいた．記して感謝の意を表する．